

え ど とうきょうはくぶつかん
江戸東京博物館

じょうせつてん
常設展ワークシート



[す 住まい へん 編]



じょうせつてん じしつ えど めいじ しょうわ す
常設展示室には江戸、明治、昭和の住まいが
じっさい おお さいげん
実際のおおきさで再現されています。

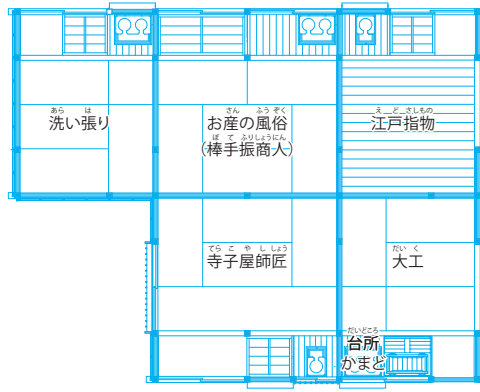
じだい す へんか く ようす くら
時代ごとの住まいの変化や暮らしの様子を比べてみましょう。



5階 E2 町の暮らし

江戸時代

棟割長屋 復元年代：江戸後期



庶民が暮らしていた長屋で
住人が共同で使っていたのは
何でしょう。

大工の住まいの台所は
どれでしょう。

() に○をつけましょう。



()

()



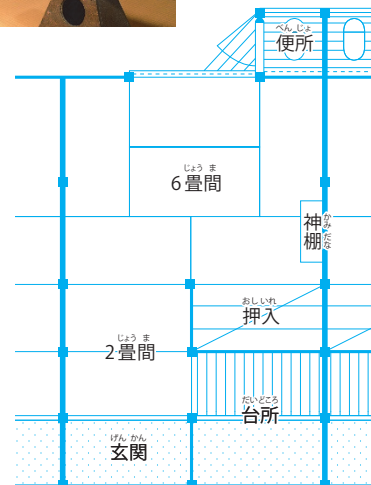
()

したまち しょみんじゅうたく 下町の庶民住宅 復元年代：昭和初期

大正時代末期に建てられた長屋の一部をもとに、
昭和初期の暮らしを再現しています。

「町の暮らし」コーナーの棟割長屋
(復元年代：江戸後期) と比べると
あるスペースが2つ増えています。

玄関、台所、和室2部屋のほかに見つけてみましょう。



5階 T6 モダン東京

大正昭和10年代

せんじか 戦時下のすまい 復元年代：1944年（昭和19）

家の外には、火の粉をたたき消す「火たたき」やバケツなど、消火道具が置かれています。

この当時は、おもにどんなことが原因の火事にそなえて消火道具を準備していたでしょうか。

- ア、料理
- イ、空襲
- ウ、たき火
- エ、地震



5階 T7

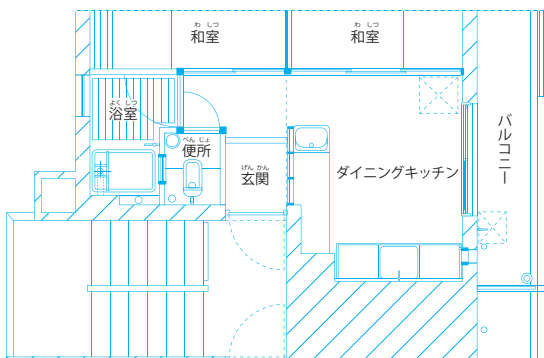
空襲と都民

昭和中期

おかだんち ひばりが丘団地 復元年代：1962年（昭和37）頃

「モダン東京」コーナーの下町の庶民住宅（復元年代：昭和初期）と比べてみましょう。台所がダイニングキッチンになっています。

ほかにも、下町の庶民住宅にはなかった部屋がひばりが丘団地にはあります。何でしょう。



5階 T9

高度経済成長期の東京

昭和30年代